

YAMAHA MIDI FOOT CONTROLLER MFC06

取扱説明書

このたびは、ヤマハ・MIDIフットコントローラー・MFC06をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

MFC06により、ヤマハ・サイマルエフェクトプロセッサ・FX500のエフェクトプログラム(またはその他のMIDI機器のプログラム番号)の切り替えや、FX500のコンプレッサー〜リバーブの各エフェクト段のON/OFFを、足元で簡単にコントロールできます。

MFC06をいつまでも支障なくお使いいただくため、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みくださいますよう、よろしくお願いたします。

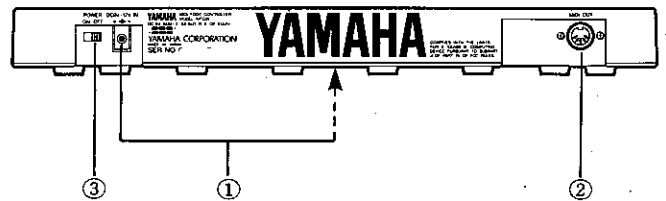
1. ご使用上の注意

- キャビネットの変形や故障を防ぐため、直射日光の当たる場所や暖房器具など発熱体の近く、日中の車内等に置かないでください。また、湿気やホコリ、振動の多い場所、温度の特に低い場所も避けてください。
- 物をぶついたり落下させるなど乱暴に取り扱わないでください。
- 分解や改造をしないでください。
- 本機に水をこぼしてしまった場合や、金属類が入ってしまった場合はすぐに使用を中止し、お買い上げ店または最寄りの弊社電音サービスセンターにご相談ください。
- 接続作業は、本機およびFX500(接続する機器)の電源をOFFにした状態で行ってください。
- ACアダプターはヤマハPA-1Bをお買い求めください。極性や出力電圧の異なる他のアダプターは、故障の原因となります。
- MIDIケーブルは、長さが15m以下のMIDI規格のものをご使用ください。
- 本機の電源をONにしてから、FX500(接続した機器)の電源をONにしてください。
- 本機はデジタル機器のため、ごく近くでラジオやテレビなどを同時にご使用になりますと、ラジオやテレビ側で雑音などが生じることがあります。十分に離してご使用ください。
- 長時間ご使用にならない時は、乾電池を取り出してください。また、ACアダプターはコンセントから外してください。
- 外装をベンジンやシンナー、揮発油等で拭いたり、近くでエアゾールタイプのスプレーを散布しないでください。外装の汚れは、必ず柔らかい布で乾拭きしてください。

2. 準備

番号順に行ってください。

- ① 乾電池またはACアダプターをセットします。両方をセットした時はACアダプターから電源供給されます。
- ② 本機のMIDI OUT端子と、FX500(接続する機器)のMIDI IN端子をMIDIケーブル(別売)で接続します。
- ③ 電源をONにします。本機をONにしてからFX500をONにしてください。なおONにすると、本機の“PGM”インジケーターが必ず点灯します。



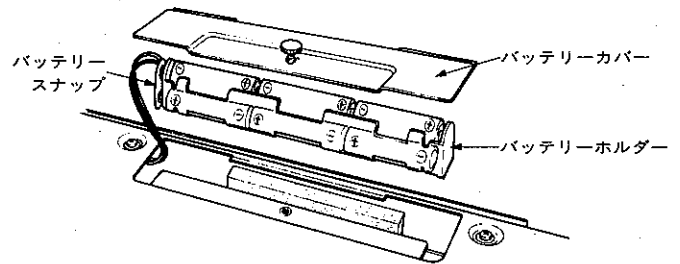
- ④ FX500のバンクA~Cのいずれか(接続した機器)のMIDI受信チャンネルを、1チャンネルまたはオムニにします。(本機のMIDI送信チャンネルは1チャンネル固定のため)
- ⑤ バンクA~Cのうちチャンネルを一致させたバンクのプログラムチェンジ表を作成しておきます。つまり、本機からプログラムチェンジメッセージ1~5を送り出した時、それぞれ希望するNoのエフェクトプログラムが呼び出されるようにします。

	BANK: ? ch= ?
1/COMPスイッチを踏んだ時 →	PGM 1 = MEM ?
2/DISTスイッチを踏んだ時 →	PGM 2 = MEM ?
3/EQスイッチを踏んだ時 →	PGM 3 = MEM ?
4/MODスイッチを踏んだ時 →	PGM 4 = MEM ?
5/REVスイッチを踏んだ時 →	PGM 5 = MEM ?

3. 乾電池のセット

本機は単3乾電池が6本付属となっています。乾電池で使用する時は、次のようにセットしてください。

- ① 電源スイッチをOFFにします。
- ② 本機底面のバッテリーカバーを取り外します。コイン等を使ってコインスクリューをゆるめるだけで外れます。
- ③ バッテリーホルダーを取り外します。バッテリースナップのコードを傷めないように注意してください。
- ④ 単3乾電池6本を+、-を確認しながらセットします。
- ⑤ バッテリースナップをバッテリーホルダーの端子に確実に接続します。
- ⑥ バッテリーホルダーを収納して、バッテリーカバーを元のとおりに取り付けます。



- ※乾電池が寿命になると、本機のインジケータが点滅します。点滅したら、新しいものと交換してください。
- ※ステージの前には新しい乾電池をセットされることをお勧めします。なおステージでACアダプターを使用する場合も、乾電池をセットしておくことで安心です。ACアダプターのプラグが本機から抜けてしまっても、そのまま乾電池で作動します。
- ※乾電池を使用しない時でも、バッテリースナップをバッテリーホルダーの端子に接続しておいてください。接続しておかないと、バッテリースナップの端子が内部の基板や金属部分に触れて、故障の原因になることがあります。
- ※バッテリースナップには、本機のバッテリーホルダー以外のものを接続しないでください。

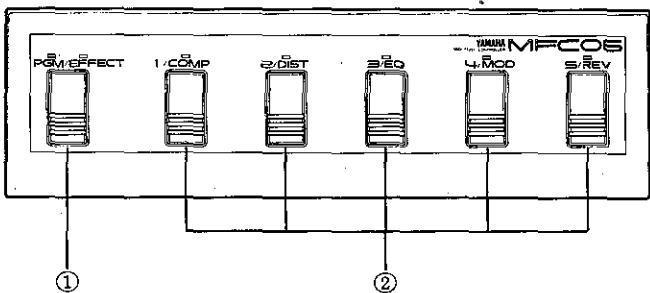
4. 操作方法

エフェクトプログラムを切り替える場合

- ①プログラムチェンジモードにします。PGM/EFFECTスイッチを踏んで、PGM側のインジケータを点灯させてください。
- ②エフェクトプログラムを切り替えます。1/COMP~5/REVの中の該当するスイッチを踏んでください。たとえば4/MODスイッチを踏めばプログラムチェンジメッセージの3(FX500上のPGM番号は4)が送り出されて、“2.準備”の⑤でPGM4に対応させたプログラムが呼び出されます。
※1/COMP~5/REVスイッチを踏むと、踏んだスイッチのインジケータが点灯します。従って、どのスイッチを踏んだ状態になっているかを、本機側で確認できます。

各エフェクト段をONまたはOFFする場合

- ①エフェクトON・OFFモードにします。PGM/EFFECTスイッチを踏んで、EFFECT側のインジケータを点灯させてください。
- ②ONまたはOFFにします。1/COMP~5/REVの中の該当するスイッチを踏んでください。1/COMP~5/REVの各スイッチを踏めば、それぞれのコントロールチェンジメッセージが送り出されて、各段のエフェクトがONまたはOFFになります。(ONになっている段はOFFに、OFFになっている段はONになる。)
※エフェクトON・OFFモードの時には、1/COMP~5/REVスイッチのインジケータは点灯しません。従ってON・OFFの状態は、FX500のインジケータまたは聴感上で確認してください。
※プログラムチェンジ表のように、コントロールチェンジメッセージに対する設定をFX500側で行う必要はありませんが、MIDIチャンネルは一致させておく必要があります。



メッセージは、プログラムチェンジモード/エフェクトON・OFFモードの切り替えをした時には送信されず、1/COMP~5/REVスイッチを踏んだ時に送信されます。

5. 仕様

送信内容:

プログラムチェンジモード時: プログラムチェンジメッセージ
0(PGM 1)~4(PGM 5)

エフェクトON・OFFモード時: コントロールチェンジメッセージ
116(COMP)~120(REV)

MIDI送信チャンネル: 1チャンネル固定

インジケータ: PGM、EFFECT、1、2、3、4、5

スイッチ: PGM/EFFECT、1/COMP、2/DIST、3/EQ、4/MOD、5/REV

接続端子: MIDI OUT、DC 9V~12V IN

電源: 単3乾電池6本またはACアダプター(PA-1B)

電池寿命: 約10時間(付属の乾電池を使用した場合)

寸法(W×H×D): 444mm×41mm×130mm

重量: 1.2kg(乾電池含む)

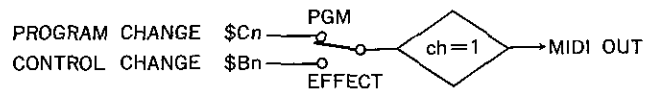
付属品: 単3乾電池6本

別売品: ACアダプターPA-1B

●仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

6. MIDIデータフォーマット

1. 送信条件



2. 送信データ

チャンネルインフォメーション(チャンネルボイスメッセージ)

①プログラムチェンジ

ステータス 11000000 (COH)
プログラム番号 0000pppp p=0(PGM 1)~4(PGM 5)

②コントロールチェンジ

ステータス 10110000 (BOH)
コントロール番号 0ccccccc c=116(COMP)~120(REV)
コントロール値 0vvvvvvvv V=0(OFF), 127(ON)

Function ...	Transmitted	Recognized	Remarks
Basic Default	: 1	: X	
Channel Changed	: X		
Mode Default	: X	: X	
Mode Messages	: X	: X	
Mode Altered	: *****	: X	
Note	: X	: X	
Number : True voice	: *****	: X	
Velocity Note ON	: X	: X	
Velocity Note OFF	: X	: X	
After Key's	: X	: X	
Touch Ch's	: X	: X	
Pitch Bender	: X	: X	
Control			
Change			
			*1
	116 : 0	: X	COMP
	117 : 0	: X	DIST
	118 : 0	: X	EQ
	119 : 0	: X	MCD
	120 : 0	: X	REV
Prog	: 0 0 - 4	: X	*2
Change : True #	: *****		
System Exclusive	: X	: X	
System : Song Pos	: X	: X	
System : Song Sel	: X	: X	
Common : Tune	: X	: X	
System : Clock	: X	: X	
Real Time : Commands	: X	: X	
Aux : Local ON/OFF	: X	: X	
Aux : All Notes OFF	: X	: X	
Mes- : Active Sense	: X	: 0	
sages:Reset	: X	: X	

Notes: *1 At EFFECT mode
 *2 At PGM mode

Mode 1 : OMNI ON, POLY Mode 2 : OMNI ON, MONO o : Yes
 Mode 3 : OMNI OFF, POLY Mode 4 : OMNI OFF, MONO x : No

7. サービスについて

本機の保証期間は、保証書によりご購入から1ヶ年です。
(現金、ローン、月賦などによる区別はございません)
また保証は日本国内にてのみ有効といたします。

●保証書

保証書をお受け取りの際、お客さまのご住所、お名前、お買い上げ月日、販売店名などが記入されているかを必ずご確認ください。無記名の場合は無効になりますので、くれぐれもご注意ください。

●保証書は大切にしましょう!

保証書は弊社が、本機をご購入いただいたお客さまにご購入の日から向う1ヶ年間の無償サービスをお約束申しあげるものですが、万一紛失なさいますと保証期間中であっても実費を頂戴させていただきますこととなります。万一の場合に備えて、いつでもご提示いただけますように充分ご配慮のうえで保管してください。また、保証期間が切れましてもお捨てにならないでください。後々のサービスに際しての機種判別や、サービス依頼店の確認など便利にご利用いただけます。

●保証期間中のサービス

保証期間中に万一故障が発生した場合、お買い上げ店にご連絡頂きますと、技術者が修理・調整致します。この際必ず保証書をご提示ください。保証書なき場合にはサービス料金を頂く場合もあります。又お買い上げ店より遠方に移転される場合は、事前にお買い上げ店あるいは電音サービス拠点にご連絡ください。移転先におけるサービス担当店をご紹介申し上げますと同時に、引続き保証期間中のサービスを責任をもって行なうよう手続き致します。

満1ヶ年の保証期間を過ぎますとサービスは有料となりますが、引き続き責任をもってサービスをさせていただきます。なお、補修用性能部品の保有期間は最低8年となっています。そのほかご不明の点などございましたら、下記のヤマハサービス網までお問い合わせください。

■YAMAHA電気音響製品サービス拠点 (お預り修理窓口)

北海道電音サービスセンター	〒064	札幌市中央区南十条西1-1-50 ヤマハセンター内 TEL011-513-5036
仙台電音サービスセンター	〒983	仙台市若林区卸町15-7 仙台卸商共同配送センター3F TEL022-236-0249
東京電音サービスセンター	〒211	川崎市中原区本月1184 TEL044-434-3100
新潟電音サービスステーション	〒950	新潟市万代1-4-8 シルバーホールビル2F TEL025-243-4321
浜松電音サービスセンター	〒435	浜松市上西町911 ヤマハ精工竹工場内 TEL0534-65-6711
名古屋電音サービスセンター	〒454	名古屋市中川区玉川町2-1-2 ヤマハ精工名古屋流通センター TEL052-652-2230
大阪電音サービスセンター	〒565	吹田市新神戸1-16 千里丘センター内 TEL06-877-5262
京都電音サービスステーション	〒600	京都市下京区七条通間之町東入材木町483 第2マスイビル3F TEL075-361-6470
神戸電音サービスステーション	〒650	神戸市中央区元町2-7-3 ヤマハ精工神戸店内 TEL078-321-1195
四国電音サービスステーション	〒760	高松市丸亀町8-7 ヤマハ精工高松店内 TEL0878-22-3045
広島電音サービスセンター	〒731-01	広島市安佐南区西原2丁目27-39 TEL082-874-3787
九州電音サービスセンター	〒812	福岡市博多区博多駅前2-11-4 TEL092-472-2134

(本社)

電音サービス部 〒435 浜松市上西町911
TEL0534-65-1158

※住所及び電話番号は変更になる場合があります。

ヤマハ株式会社 音響システム事業部

音響システム事業部	〒430	浜松市中沢町10-1 TEL0534-60-2493
東京営業所	〒104	東京都中央区銀座7-11-3 矢島ビル TEL03-574-8592
大阪営業所	〒542	大阪市中央区南船場3-12-9 心齋橋プラザビル東館 TEL06-252-5231

ヤマハ株式会社 楽器営業本部

L M 営業部	〒430	浜松市中沢町10-1 TEL0534-60-2431
北海道支店	〒064	札幌市中央区南十条西1-1-50 ヤマハセンター TEL011-512-6113
L M 営業部	〒980	仙台市青葉区大町2-2-10 TEL022-222-6146
仙台支店	〒104	東京都中央区銀座7-11-3 矢島ビル TEL03-574-8592
L M 営業部	〒460	名古屋市中区錦1-18-28 TEL052-201-5199
名古屋支店	〒542	大阪市中央区南船場3-12-9 心齋橋プラザビル東館 TEL06-252-5231
大阪支店	〒730	広島市中区紙屋町1-1-18 ヤマハビル TEL082-244-3749
L M 営業部	〒812	福岡市博多区博多駅前2-11-4 TEL092-472-2130
九州支店		
L M 営業部		

YAMAHA

8907 ©